

ほ場整備事業の効果

■岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課

本県では、水田の大区画化や用排水施設の整備と併せ、担い手への農地利用集積を一体的に進めるため「ほ場整備事業」を重点的に実施しています。

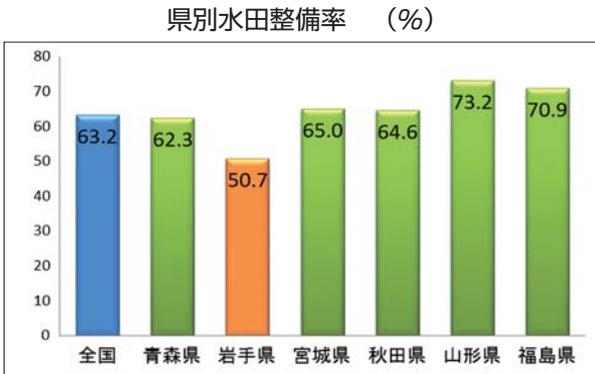
本号では、事業の効果と実施地区における農家の皆さんの声を紹介します。

1 現状と課題

本県の水田整備率は東北で最も低く、全国平均と比べても大きく下回っている状況です。

一方、米の生産費は、東北で最も高いことから、生産コストの低減に向けた取組が必要となっています。

また、本県の主要な転作物物である小麦、大豆の平均単収は、全国平均を大きく下回り、東北で最も低い状況です。



【農林水産省 農業基盤情報基礎調査】
※30a区画程度以上の整備率

これらは、ほ場の排水不良による湿害が原因の一つとされており、単収の向上を図るためには排水条件の改良が重要です。

小麦・大豆の平均単収 (kg/10a)



【農林水産省 農作物統計】
※7カ年(平成19~25年)のデータのうち、最少・最大値を除いた5カ年の平均値

2 ほ場整備事業の効果

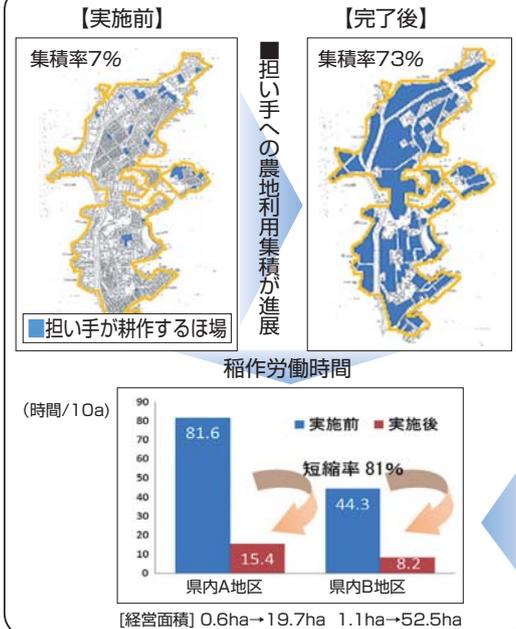
① 水田の大区画化と農地利用集積の一体的な推進

ほ場整備事業を実施した地区では、農地の大区画化により、機械の作業効率向上するとともに、大型機械の導入が可能となります。

また、ほ場条件の改善により、意欲ある担い手への農地利用集積が地域の合意の下に促進されています。

さらに、農業生産法人などの組織化が進むことで、後継者や新たな就農者が育成されています。

〔農地利用集積の例〕



〔ほ場整備事業の例〕



② 排水条件の改良による水田の汎用化

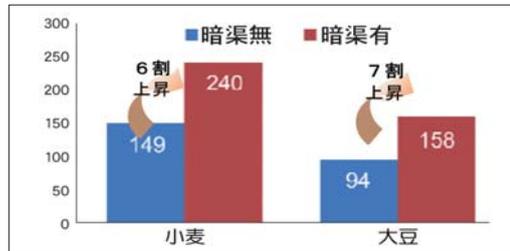
排水路や暗渠の整備により、排水条件が改良されたほ場では、麦、大豆、園芸作物等の安定生産が可能となります。

暗渠の有無を確認するために、暗渠の有無による生育や収量の違いを調査したところ、暗渠が整備された水田では未整備水田に比べ単収は、小麦で6割、大豆では7割高くなりました。

このことから、暗渠の整備が単収向上に大きく寄与するところがわかります。



暗渠有水田における小麦・大豆の単収 (kg/10a)



【県農村計画課】

「農業農村整備事業の有効性に関する調査 (1122-23)」

③ ほ場整備地区における6次産業化の取組

また、このように汎用化された水田では、作付作物の選択の幅が広がることから、園芸などの高収益作物の導入や拡大が進んでいます。

さらに、農作業の効率化により生み出された労働力や新規導入作物を活用し、農産物の加工・販売を行う6次産業化の取組が県内各地で展開されています。

このような経営の多角化は、農産物の高付加価値化による農業所得の向上、女性や高齢者の雇用創出による地域活性化につながっています。

3 農家の皆さんの声

県では、ほ場整備事業の効果を確認し、今後の施策展開の参考とするため、事業完了地区の農家の方々を対象としたアンケートを実施しました。



アンケート結果



その結果、用水のパイプライン化による水管理の省力化や、農地の大区画化による機械作業の効率化などについて評価が高い傾向で「よかった」と回答しています。特に受け手（担い手や規模拡大志向）農家の9割が「よかった」と回答しています。

また、ほ場整備後の営農時間については、全体の7割以上、受け手農家に限っては8割近くが「短縮した」と回答しています。

このため県では、今後も、生産性の向上や担い手育成に大きな役割を果たすほ場整備事業を計画的に実施するとともに、普及センター等と連携しながら、担い手への農地利用集積を推進していきます。

●このページに関するお問い合わせ

岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課 Tel 019-629-5674/Fax 019-629-5679